

巻 頭 言

年 度 当 初 に あ た つ て

県統計課長 田 口 源 治

近年、情報産業の発展に伴い、経済、社会は急速に変動しつつあります。このような環境のなかにあつて、行政や企業が着実にその目的を遂行していくためには、各種の情報を駆使して、つねに将来への動きを適確に見きわめ、これにもとづいて施策を講ずることが不可欠であります。統計は、これらの情報のなかにあつてとくに重要な役割りをもっており、最近、需要度も一段と増大してまいりました。

このような情勢のもとで、統計業務を担当いたしますことは、誠に意義のあることであり、責任の重大さをあらためて痛感するものであります。

さて、昭和46年度をむかえるにあたり、皆さまとともに次のことについて考えてみたいと思います。

第1には調査員の確保対策であります。統計調査の実施にあつて、統計調査員の果たす役割はまことに大きなものがあります。この統計調査員の確保については、各種の問題を内包しており、いまだに十分な成果をみていない現状であります。この問題の解決のため、中央においては統計審議会や各省において検討がなされており、地方においても各都道府県や市町村の統計主管課などで有効な解決策をみいだすべく研究を重ねているわけであります。

本県においては、調査員の確保対策と資質の向上の一助として取りあえず、次のようなことを実施したいと考えております。

- (1) 統計調査員の組織化の推進
- (2) 統計調査員手当の増額
- (3) 統計調査員の県外研修会の開催

第2としては統計関係の業務を担当している職員の資質向上の問題であります。統計関係職員は、つぎつぎと実施される各種の統計調査事務におかれ、職務に関する基礎的および専門的研究が等閑になることもやむを得ない現況であると思われます。しかしながらこの問題は統計調査の質的水準を確保するうえできわめて重要でありますので、本年度はつぎのような各種の研修会および講習会を開催するほか、指導の強化を図り、統計関係職員の資質向上に努めてまいりたいと考えております。

- (1) 中央で開催される各種講習会への参加
- (2) 市町村統計関係職員を対象とした講習会の充実
- (3) 商工業調査、法人企業調査等の解析研究会の開催
- (4) 毎月勤等統計調査、商工動態統計調査等の調査員の研修会の開催
- (5) 市町村民所得推計の指導充実

第3に一般県民の皆さまに対する統計思想の普及啓蒙であります。最近、日常生活のなかで統計の利用されることが多くなつてまいりましたが、まだ自主的に統計を活用するという段階には至っておりません。そこで本年度は、統計教育の充実の一助として、統計グラフコンクールを充実するほか、巡回展示会を開催して児童、生徒ばかりでなく、父兄のかたがたに対しても統計思想の普及を図ってまいりたいと考えております。

さらに、統計大会を開催して統計関係者の意識の昇揚を図るとともに、各種統計図書を発行配付し、情報化時代に即応する啓蒙活動を実施してまいりたいと存じます。

年度のはじめにあつて思いついたままを述べてまいりましたが、統計事業の発展のためには、各位の絶大なご支援が必要でありますので、心からのご協力、ご指導をお寄せ下さいますことをお願いする次第であります。